

## 2025（令和7）年度入学試験問題

# 日 本 史

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 試験時間は60分です。
- この問題の本文は全部で22ページです。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。  
 （機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。）
  - 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下マーク欄を正確にマークすること。  
 マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
  - 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
  - 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
  - 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
  - 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

| マ ー ク 解 答 欄 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1           | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |
| ①           | ② | ● | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |

- 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。



I 次のA、Bの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 672年の壬申の乱に勝利した大海人皇子は、翌年、飛鳥浄御原宮で即位した(天武天皇)。天武天皇と次の持統天皇は、中央集権的な国家体制の形成をすすめた。その後、持統天皇は、7世紀末に孫の (a) ア 天皇に位を譲った。

701年、ア 天皇のもとで、刑部親王や藤原不比等らによって大宝律令が完成し、律令にもとづく政治の仕組みも整った。中央行政組織には祭祀をとりあつかう神祇官と行政全般を管轄する太政官があり、太政官のもとで八省が政務を分担した。地方は、畿内および七道に行政区分され、(b) 畿内と各道にはそれぞれ国・郡・里(郷)が置かれた。

律令政治の中軸となった藤原不比等は、娘の宮子を ア 天皇に嫁がせた。宮子は皇子を生んだが、それが後に即位して聖武天皇となった。聖武天皇の治世は長く、華やかな仏教を中心とした文化が開花した時代であったが、貴族らの権力闘争や戦乱、疫病の流行など、さまざまな社会不安がまきおこった時代でもあった。こうした中で(c) 聖武天皇は仏教の力で国を治めようとした。

聖武天皇が譲位したのちは娘の孝謙天皇が即位したが、その母の光明皇太后のもとで(d) 藤原仲麻呂が勢力をのばした。仲麻呂は政敵を退けたのち、イ 天皇を即位させ、恵美押勝の名を賜って絶大な権力をふるった。しかし彼は、光明皇太后の死去とともに孤立化し、孝謙太上天皇が僧道鏡を寵愛して イ 天皇と対立すると、危機感をつのらせて挙兵したが、結局敗死した。それに伴い イ 天皇も廃位され、孝謙太上天皇が、称徳天皇として再び即位した。称徳天皇は、(e) 道鏡を太政大臣・僧侶から法王の地位につけ、仏教を重視した政治を行い、ついには宇佐八幡宮の神託によって道鏡に天皇の位を譲ろうと図った。しかしその企ては、和気清麻呂の行動などによって挫折した。称徳天皇の死後、道鏡は左遷された。他方、次の皇位には、藤原 ウ の藤原 エ らが図って天智天皇の孫にあたる光仁天皇をつけた。光仁天皇のあとを継いだ桓武天皇は、平城京から、(f) 長岡京、ついで平安京へ遷都するとともに、(g) 光仁天皇の政策を引き継いで東北地方で大規模な征夷を実行し、律令国家の支配権が及ぶ範囲を広げることに成功した。

〔設問1〕 下線部(a)に関連して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

i 富本銭の鑄造を行った。

ii 庚寅年籍を作成した。

iii 飛鳥浄御原令を施行した。

① i - ii - iii      ② i - iii - ii      ③ ii - i - iii

④ ii - iii - i      ⑤ iii - i - ii      ⑥ iii - ii - i

〔設問2〕 空欄 ア , イ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

① ア 文武      イ 淳仁

② ア 文武      イ 淳和

③ ア 元明      イ 淳仁

④ ア 元明      イ 淳和

〔設問3〕 下線部(b)に関連して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

a 北海道には、外交業務を担当し、北海道内の諸国を統括した大宰府が置かれた。

b 畿内には、難波宮・難波津の管理を担当した左右京職も置かれた。

c 東山道に属した陸奥国には、8世紀前半に鎮守府が置かれた。

d 畿内から七道の諸国府へのびる官道が整備され、約16kmごとに駅家が設けられた。

① a ・ b      ② a ・ c      ③ a ・ d

④ b ・ c      ⑤ b ・ d      ⑥ c ・ d

〔設問4〕 下線部(c)に関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

- a 国分寺建立詔で、国ごとの国分寺に20人の僧、国分尼寺に10人の尼の配置が命じられた。
- b 近江の紫香樂宮で開始された東大寺の造営は、その後、平城京で再開された。
- c 東大寺大仏の正式名称は、盧舎那仏であるが、この名称は華嚴經に由来する。
- d 聖武天皇の時代に行われた東大寺大仏の開眼供養会には、インド僧や中国僧を含む約一万人の僧侶が参列した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問5〕 下線部(d)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

- ① 仲麻呂の父武智麻呂が編纂を主導した養老律令は、仲麻呂の執政期に施行された。
- ② 仲麻呂を討とうとした橘諸兄は、逆に滅ぼされた。
- ③ 仲麻呂は、唐が安史の乱で混乱しているときに、渤海に攻め込もうと計画した。
- ④ 恵美押勝（仲麻呂）は、大師（太政大臣）の地位にまでのぼりつめた。

〔設問6〕 空欄  ,  に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① ウ 北家      エ 永手
- ② ウ 北家      エ 仲成
- ③ ウ 式家      エ 永手
- ④ ウ 式家      エ 仲成

〔設問7〕 下線部(c)に関連して、称徳天皇の治世下の事績に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- a 百万塔が作成され、主要な寺院に安置された。
- b 西大寺が造営された。
- c 下野薬師寺の造営が開始された。
- d 平城京に悲田院・施薬院が設けられた。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問8〕 下線部(f)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 桓武天皇の命を受けて長岡京への遷都を主導したのは、北家の藤原種継である。
- ② 桓武天皇の皇太子であった高岳親王は、長岡京遷都を妨害した首謀者として廃太子され自害したが、のち怨霊として恐れられるようになった。
- ③ 桓武天皇が置いた検非違使は、平安京の警備を担当する令外の官である。
- ④ 桓武天皇が置いた勘解由使は、国司交替時の事務引継ぎの監督をした令外の官である。

〔設問9〕 下線部(g)に関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

- a 桓武天皇の時代、帰順した蝦夷の豪族伊治些麻呂は、雄勝城を焼き討ちした。
- b 桓武天皇の時代、征東大使となった紀古佐美は、胆沢地方で阿弭流為に大敗した。
- c 桓武天皇の時代、坂上田村麻呂は、胆沢城を建設して鎮守府をその地に遷した。
- d 桓武天皇の時代、文室綿麻呂は、最北の城柵である徳丹城を建設した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

B 7世紀後半から8世紀初頭にかけての白鳳文化は、唐初期の文化の影響を受けた、仏教を基調とする文化であった。<sup>(h)</sup>天武天皇によって大官大寺や薬師寺が作り始められると仏教興隆は国家的に推進され、地方豪族もこの時期に競って寺院を建立した。

奈良時代に入ると、聖武天皇や光明皇后を中心とした宮廷・貴族や寺院の豊かな生活のもとで、仏教が一層展開した。この時代の文化を天平文化と呼ぶ。その下では多くの優れた美術作品がつくられたが、とくに彫刻では、以前からの技法の金銅像・木像に加えて、新たな制作技法による像が現れた。<sup>(i)</sup>

平安時代になると、天台宗や真言宗が、密教の現世利益の祈禱などにより、皇族や貴族らの支持をあつめた。<sup>(j)</sup>この両宗は、奈良時代までとは異なって、山岳の地に伽藍を営み、山中を修行の場としたので、在来の山岳信仰とも結びついて修験道の源流となった。また、密教がさかんになり、神仏習合が進展するとともに、密教芸術が新たに発展し、神秘的な一本造りの仏像や神像の彫刻が盛んにつくられた。<sup>(k)</sup><sup>(l)</sup>

〔設問10〕 下線部(h)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- a 興福寺仏頭は、もとは山田寺の薬師三尊像の本尊の頭部で、蘇我倉山田石川麻呂の冥福のためにつくられた。
- b 白鳳期の様式を伝えたとされる興福寺五重塔の各層には、裳階がついている。
- c 大官大寺の金堂壁画は、インドや西域の影響がうかがえるものであったが、戦後に焼失した。
- d 高松塚古墳の石棺式石室内壁の漆喰に彩飾された壁画には、唐や高句麗の壁画の影響があるとされる男女の群像や四神・星宿が描かれている。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d  
④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問11〕 下線部(i)に関して、新たな制作技法の特徴について述べた次の文 X・Y と、それに関連する美術作品の名 a～d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

X 木を芯として粘土を塗り固めて造る技法の塑像

Y 原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、その後原型を抜き取る技法の乾漆像

- a 薬師寺吉祥天像                      b 東大寺法華堂執金剛神像  
c 薬師寺金堂薬師三尊像              d 興福寺阿修羅像

- ① X - a   Y - c      ② X - a   Y - d  
③ X - b   Y - c      ④ X - b   Y - d



〔設問12〕 下線部(j)に関連して、両宗のいずれかに属した入唐僧について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄

**12** にマークしなさい。

- ① 近江国出身の最澄は、近江国国分寺や比叡山で修学したのち、唐にわたって天台の教えを学び、帰国後天台宗を開いた。
- ② 讃岐国出身の空海は、唐の都長安で密教を学んで帰国したのち、桓武天皇の許可を得て、高野山に金剛峯寺を建てた。
- ③ 円仁は、入唐して五台山や天台山で主に密教を学んで帰国した。
- ④ 円珍の門流（弟子ら）は、延暦寺に拠って活動したため、のち山門派と呼ばれた。

〔設問13〕 下線部(k)に関連して、密教の影響で、従来の形式にとらわれない伽藍配置をとり、山地を開いて建てられた平安初期の建築物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **13** にマークしなさい。

- ① 富貴寺大堂
- ② 教王護国寺金堂・五重塔
- ③ 醍醐寺金堂・五重塔
- ④ 室生寺金堂・五重塔

〔設問14〕 下線部(l)に関して、一木造りの仏像や神像の彫刻として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **14** にマークしなさい。

- ① 薬師寺僧形八幡神像
- ② 園城寺不動明王像（黄不動）
- ③ 神護寺薬師如来像
- ④ 元興寺薬師如来像

Ⅱ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 戦国時代の戦乱を勝ち抜き、全国統一を果たした武家政権は、古代以来の政治的権威である天皇・朝廷を統制しつつ、その利用をはかった。

<sup>(a)</sup>豊臣秀吉は、朝廷から関白に任じられると、日本全国の支配権を委ねられたとして、諸大名に停戦を命じ、従わない場合は軍勢を差し向け討伐した。また後陽成天皇を  に迎えた際に、天皇と秀吉に対する忠誠を諸大名に誓わせ、天皇の権威によって政権の基盤を固めた。秀吉は関白の地位を  に譲るが、そののちも太閤として実権をふるった。

徳川家康は、関ヶ原の戦いに勝利したのち、朝廷から征夷大將軍の宣下をうけることにより、武家の棟梁としての地位を固めた。それとともに、禁中並公家諸法度を制定し、朝廷に対する統制の枠組みを定めた。

2代將軍徳川秀忠は、娘の和子を<sup>(b)</sup>後水尾天皇に嫁がせ朝廷との結びつきを強める一方で、<sup>(c)</sup>紫衣事件によって、幕府の法が天皇の勅許に優越することを示した。

3代將軍<sup>(d)</sup>徳川家光は、將軍代替わりに際し30万余りの軍勢を引き連れて江戸から京都に上り、強大な軍事力を見せつけることで、天皇・朝廷を圧倒した。

〔設問1〕 下線部(a)が関白の地位にあった時期（1585～1591年）に行った軍事行動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 越前の柴田勝家を滅ぼした。
- ② 九州の島津義久を征討して降伏させた。
- ③ 明智光秀を山崎の戦いで破った。
- ④ 肥前名護屋に本営を置いて、朝鮮に大軍を送った。

〔設問2〕 空欄  ,  に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① ア 伏見城      イ 豊臣秀次
- ② ア 伏見城      イ 豊臣秀頼
- ③ ア 聚楽第      イ 豊臣秀次
- ④ ア 聚楽第      イ 豊臣秀頼

〔設問3〕 下線部(b)は、和歌や書などの学芸にすぐれ、さまざまな人々と交わり、宮廷文化繁栄の中心的な役割を果たした。これに関連して、17世紀に京都とその周辺で展開した文化について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 俵屋宗達が、京都の北の鷹ヶ峰に移り住み、蒔絵・陶芸・書で優れた作品を生み出した。
- ② 土佐光起が、大和絵の画風をもとに装飾画に新様式を生み出し、琳派の先駆となった。
- ③ 松永貞徳が、洒落や滑稽によって句をつくる談林派を形成した。
- ④ 八条宮智仁親王が、別邸として桂離宮を造営した。

〔設問4〕 下線部(c)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

- a 紫衣とは、朝廷から高德の僧に賜った紫色の僧衣のことである。
- b 後水尾天皇が幕府の了解を得ずに紫衣を勅許したが、幕府によって取り消された。
- c 大徳寺の隠元隆琦が、幕府の措置に抗議したことにより出羽国に流された。
- d この事件を契機に後水尾天皇が退位し、和子が産んだ男子が次の天皇として即位した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問5〕 下線部(d)が将軍の地位にあった時期（1623～1651年）に起きた出来事に関して述べた次の文 i～iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 19 にマークしなさい。

- i 平戸のオランダ商館が長崎の出島に移された。
- ii 日本人の海外渡航および帰国が全面的に禁止された。
- iii 島原天草の土豪や百姓が起こした一揆が、幕府・諸大名により鎮圧された。

- ① i - ii - iii      ② i - iii - ii      ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i      ⑤ iii - i - ii      ⑥ iii - ii - i

B 社会が安定していくにつれ、幕府は礼儀によって社会秩序の維持をはかろうとし、朝廷を尊重する政策をとった。

5代将軍 ウ は、朝廷領を増やし、大嘗会を復活させるなどの施策をおこなった。また7代将軍徳川家継のとき、将軍を補佐した新井白石が新たな宮家である エ 家の創設をはかるなど、幕府と朝廷との協調関係が築かれ

た。

こうした中で、天皇を尊崇する尊王論が社会に広がりを見せ始めた。京都では **オ** が公家たちに尊王論を説いて追放刑となった。朝廷自身も次第に自己主張を強めていくなかで、11代将軍徳川家斉<sup>(f)</sup>のときに、光格天皇が実父の **エ** 典仁親王に太上天皇の尊号を宣下することを幕府に求めたが、老中首座の松平定信ら幕閣らはこれを拒否し、朝廷側に立って尊号宣下を求めた **カ** を処分するという事件が起きた。これにより、それまでの幕府と朝廷との協調関係にひびがはいっていった。

〔設問6〕 空欄 **ウ** , **エ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

- ① ウ 徳川綱吉      エ 閑院宮
- ② ウ 徳川綱吉      エ 有栖川宮
- ③ ウ 徳川家綱      エ 閑院宮
- ④ ウ 徳川家綱      エ 有栖川宮

〔設問7〕 下線部(e)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- ① 朝鮮からの国書に将軍が「日本国王」と記されているのを「大君」に改めさせた。
- ② 金の含有率を下げた正徳小判を鑄造させ、幕府の収入を増やした。
- ③ 海舶互市新例を発して長崎での貿易額を制限した。
- ④ 自伝『宇下人言』のなかで、元勘定奉行の荻原重秀を批判した。

〔設問 8〕 空欄  ,  に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① オ 竹内式部      カ 京都所司代
- ② オ 竹内式部      カ 武家伝奏
- ③ オ 山県大弐      カ 京都所司代
- ④ オ 山県大弐      カ 武家伝奏

〔設問 9〕 下線部(f)が将軍の地位にあった時期（1787～1837年）は、江戸において庶民文化が発展した。この時期の文学について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 柳亭種彦が『春色梅児誉美（暦）』を書いた。
- ② 為永春水が『金々先生栄華夢』を書いた。
- ③ 恋川春町が『修紫田舎源氏』を書いた。
- ④ 曲亭馬琴が『椿説弓張月』を書いた。

C 江戸時代の後期、外国船の来航がたびかさなると、天皇・朝廷が国家的統一の核となりうる存在として注目されるようになり、後期水戸学がその思想的な裏付けとなった。

開国後、アメリカの通商要求を受け入れざるを得なくなった幕府は、天皇・朝廷の許可を得て国論の統一をはかろうとしたが、朝廷では攘夷の空気が強く、 天皇の反対により、条約調印の勅許を得ることができなかった。おりしも病弱な13代将軍  の後継者をめぐり、幕府内にも対立が生じ、政治権力の基盤が揺らいでいった。

朝廷に対し強硬な姿勢をとった井伊直弼が殺害されたのち、幕府は公武合体政策をすすめ、あらためて朝廷との融和をはかろうとしたが、朝廷を統御することは、もはや不可能になっていた。

事態の打開をはかるため15代将軍徳川慶喜が大政奉還を奏上すると、薩摩藩

などの討幕派は幼少の天皇を戴いてクーデタを決行し、王政復古の大号令を発して、天皇を頂点とする新政権を発足させた。

〔設問10〕 下線部(g)に関連して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- i アメリカ商船モリソン号が浦賀沖に接近した。
  - ii イギリス軍艦フェートン号が長崎に侵入した。
  - iii ロシア使節レザノフが長崎に来航した。
- ① i - ii - iii      ② i - iii - ii      ③ ii - i - iii  
 ④ ii - iii - i      ⑤ iii - i - ii      ⑥ iii - ii - i

〔設問11〕 空欄 **キ** , **ク** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- ① キ 孝明      ク 徳川家定
- ② キ 孝明      ク 徳川家慶
- ③ キ 後桃園      ク 徳川家定
- ④ キ 後桃園      ク 徳川家慶

〔設問12〕 下線部(h)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- ① 大老として日米和親条約の調印を強行した。
- ② 将軍継嗣問題では、紀伊藩主の徳川慶福を推した。
- ③ 安政の大獄で、朝廷から隠居謹慎を命じられた。
- ④ 江戸城桜田門外で長州藩浪士により殺害された。

〔設問13〕 下線部(i)に関連して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄

**27** にマークしなさい。

- i 鹿児島湾に襲来したイギリス艦隊と砲撃を交わした。
- ii 坂本龍馬らの仲介で、長州藩と軍事同盟の密約を結んだ。
- iii 島津久光が勅使を奉じて江戸に下り、幕府に改革を要求した。

- ① i - ii - iii      ② i - iii - ii      ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i      ⑤ iii - i - ii      ⑥ iii - ii - i

〔設問14〕 下線部(i)に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- a 公議世論の尊重と開国和親などの国策の基本を示した。
- b 天皇のもとに新たに総裁・議定・参与の三職を置いた。
- c 幕府（征夷大將軍）・摂政・関白を廃止した。
- d 徳川慶喜に内大臣の辞退と領地の一部返上を命じた。

- ① a ・ b      ② a ・ c      ③ a ・ d
- ④ b ・ c      ⑤ b ・ d      ⑥ c ・ d



Ⅲ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 日本の歴史は、東アジア世界はもちろん、欧米諸国との関係の中で、つまり世界史の中で形成されてきたとも言える。そのため、その時々<sup>（a）</sup>の国際情勢に目を向けずに日本の歴史を理解することはできない。特に外国人が日本に与えた直接の影響は大きかった。日本列島に生まれ育った人物だけによって日本の歴史が形成されてきたわけではなく、そこには、少なくない外国人が関わってきたのである。江戸時代以前においても、来日して少なからぬ影響を与えた外国人がいる。

そのうちの1人である朱舜水は、明滅亡の前後から明の再興を図ろうとして海外諸国に渡航を繰り返し、支援を求めている儒学者である。明再興を目指す鄭成功<sup>（a）</sup>の南京攻略戦に従軍して敗戦した後に来日してからは、日本に定住するようになった。日本の兵力や物資を借りて明の復興を図ろうとする願望は実現しなかったが、水戸藩主である  によって賓師<sup>ひんし</sup>として迎えられ、水戸藩の学者達に儒教思想を伝えた。朱舜水は水戸藩江戸藩邸内に設けられた  <sup>（b）</sup>での『大日本史』の編纂、<sup>（c）</sup>水戸学の形成に対して大きな影響を与えたと言われている。

〔設問1〕 下線部(a)の人物らを描いた近松門左衛門の作品の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ① 『雨月物語』    | ② 『国性（姓）爺合戦』 |
| ③ 『南総里見八犬伝』 | ④ 『武道伝来記』    |

〔設問2〕 空欄  ,  に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① ア 徳川光圀      イ 彰考館
- ② ア 徳川光圀      イ 弘道館
- ③ ア 徳川慶喜      イ 彰考館
- ④ ア 徳川慶喜      イ 弘道館
- ⑤ ア 徳川家康      イ 彰考館
- ⑥ ア 徳川家康      イ 弘道館

〔設問3〕 下線部(b)について述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- a 年月の順に事実を記述する編年体で編まれた歴史書である。
- b 尊王を基本にした大義名分論で貫かれている。
- c 林羅山・鶯峰父子によって編纂が開始された歴史書である。
- d 江戸時代中に着手され、明治時代になってから完成した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問4〕 下線部(c)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 古典を成立当時の意味で解釈しようと試みる荻生徂徠が創始した学派である。
- ② 原典の研究を通じて聖人の道を正しく理解しようと試みる伊藤仁斎が創始した学派である。
- ③ 会沢安（正志斎）が著した『新論』は、幕末の思想や運動に影響を与えた。
- ④ 海保青陵が著した『稽古談』は、討幕運動の指針となった。

B 幕末から明治初期まで駐日イギリス公使館に勤務し、徳川昭武<sup>(d)</sup>の遣欧使節にも随行したA.シーボルトの父親であるP.シーボルトは、1823年に  商館の医師として来日した  人である。長崎出島の外科部屋で診療を始めると、数多くの町民が治療を受けたがるほどの評判を呼んだという。P.シーボルトは、長崎郊外に鳴滝塾<sup>(e)</sup>を開いて多くの門人を育てるなど、医師としてのみならず教育者としても活躍した。P.シーボルトに医学、蘭学を学んだ学者として、伊東玄朴の他、  の名を挙げることができる。シーボルト事件<sup>(f)</sup>によって国外追放となったが、後に処分が解かれると、A.シーボルトと共に再来日した。

〔設問5〕 下線部(d)の人物について述べた次の文a～dについて、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- a 徳川齊昭の息子であり、水戸藩主となった。
- b 第二次長州征討の際、大坂城で病死した。
- c 徳川慶喜の名代としてパリ万国博覧会に派遣された。
- d 徳川宗家を相続し、全権委員の1人としてワシントン会議に列席した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問6〕 空欄 ウ , エ に入る国名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 34 にマークしなさい。

- ① ウ オランダ エ ドイツ
- ② ウ オランダ エ スペイン
- ③ ウ オランダ エ フランス
- ④ ウ イギリス エ ドイツ
- ⑤ ウ イギリス エ スペイン
- ⑥ ウ イギリス エ フランス

〔設問7〕 下線部(e)に関連して、江戸時代に開かれた私塾の名称X・Yと、その塾について述べた文a～dとの組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 35 にマークしなさい。

X 適々斎塾

Y 松下村塾

a 緒方洪庵が大坂に開いた塾であり、大村益次郎、橋本左内らを輩出した。

b 大坂の町人が出資して開かれた塾であり、中井甕庵、竹山父子らが学主をつとめた。

c 萩生徂徠が江戸茅場町に開いた塾であり、太宰春台、服部南郭らを輩出した。

d 玉本文之進が萩郊外に開いた塾であり、後に吉田松陰が受け継いだ。

- ① X - a   Y - c      ② X - a   Y - d
- ③ X - b   Y - c      ④ X - b   Y - d

〔設問 8〕 空欄 オ に入る人物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 36 にマークしなさい。

- ① 前野良沢    ② 高野長英    ③ 林子平    ④ 高橋至時

〔設問 9〕 下線部(f)に関わったとして投獄されて牢死した天文学者である高橋景保について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 37 にマークしなさい。

- ① 銅版印刷の『新訂万国全図』を製作した。  
 ② 貞享暦をつくり、初代天文方に任じられた。  
 ③ 全国の沿岸を訪れて測量し、『大日本沿海輿全図』を作成した。  
 ④ 間重富と共に寛政暦を完成させた。

C 1889年の大日本帝国憲法の成立に貢献したグナイスト、シュタインらのよう  
 (g) に、来日することなしに日本の歴史に大きな影響を与えた外国人もいる。明治  
 (h) 十四年の政変の後、憲法を制定するための調査・研究を目的としてヨーロッパ  
 (i) に赴いた伊藤博文は、両者に教えを請い、ドイツ流の憲法理論を学んできた。  
 ドイツ憲法の条文そのものや、制定されるべき憲法の理念について学んだのはもちろんだが、憲法施行後の国家運営の指針まで学びとった。

帰国後の伊藤が、憲法制定に先立って華族令などの諸法令を定めて国家運営  
 (j) の基礎を固めていったのは、彼らに学んだ憲法調査の成果だったと言えよう。  
 シュタインの人柄や教えの重要性を強く語る伊藤に影響され、西園寺公望や陸  
 (k) 奥宗光など、日本の政治家や官僚、学者らがシュタインに教えを請いに行く様  
 は「シュタイン詣で」と言われるほどであった。伊藤は彼を政府顧問として日本に招聘しようとしたが、老年を理由に辞退され実現はしなかった。

〔設問10〕 下線部(g)の前後に成立した次の i ～ iii について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄

**38** にマークしなさい。

i 内閣制度

ii 皇室典範

iii 制度取調局

① i - ii - iii      ② i - iii - ii      ③ ii - i - iii

④ ii - iii - i      ⑤ iii - i - ii      ⑥ iii - ii - i

〔設問11〕 下線部(h)に関連して、来日して日本の法制度整備に影響を与えた外国人について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

① ドイツ人法学者のボアソナードは大日本帝国憲法の制定に尽力した。

② フランス人法学者のモースは旧民法の草案を起草した。

③ ドイツ人法学者のモッセは政府顧問として地方制度の改革に尽力した。

④ フランス人法学者のロesslerはフランス式軍制の導入に尽力した。

〔設問12〕 下線部(i)に関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 40 にマークしなさい。

- a 大隈重信がイギリス流の議院内閣制の早期導入を主張した。
- b 大久保利通が国会開設の勅諭を出させて国会開設を公約した。
- c 開拓使官有物が安価で払い下げられることが報じられ問題化した。
- d 福澤諭吉を中心にして設立された交詢社が「東洋大日本国国憲按」を発表した。

- ① a・b      ② a・c      ③ a・d
- ④ b・c      ⑤ b・d      ⑥ c・d

〔設問13〕 下線部(j)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

- ① 設置予定の下院の土台をつくることを目的として定められた。
- ② 爵位は男女共に世襲とされた。
- ③ 華族の範囲を狭め、旧公卿と旧諸侯のみに爵位を与えた。
- ④ 公・侯・伯・子・男の5つの爵位が定められた。

〔設問14〕 下線部(k)の人物について述べた文として最も適切なものを，次の①～

④のうちから一つ選び，解答欄 42 にマークしなさい。

- ① 幕臣としてのオランダ留学から帰国したのち，海軍奉行をつとめた。
- ② 外務大臣として条約改正交渉に取り組んだが，大津事件によって退任した。
- ③ 関税自主権回復についてアメリカの同意を得たが，イギリス，ドイツなどの同意を得られなかった。
- ④ 第二次伊藤内閣の外務大臣として，日英通商航海条約の調印に成功した。